

ファクトシート：インド・ダリパリ石炭火力発電事業

2016年1月28日

「環境・持続社会」研究センター（JACSES）

1. 事業の概要

ダリパリ石炭火力発電事業は、インドのオリッサ州スンドラガール群ダリパリ地区において 1,600MW 規模の超臨界圧火力発電所の建設を行うものである。操業時期は 2017 年度後半を予定している。

- 事業目的：1,600MW（800MW×2 基）規模の超臨界圧石炭火力発電所の建設
- 事業実施者：インド国営火力発電公社（NTPC Limited）（東芝が蒸気タービン発電設備及びボイラー給水ポンプを納入予定¹）
- 融資機関：国際協力銀行（JBIC）²及び民間銀行。なお、日本貿易保険（NEXI）³が付保を検討中。
- 総融資額：未定
- 事業サイト：インド オリッサ州スンドラガール群ダリパリ地区

2. 位置

事業サイトの位置については、「ダリパリ石炭火力発電事業の位置」を参照。

3. 主な経緯

2011年4月30日	環境アセスメント報告書（EIA）に関するパブリック・ヒアリングが開催。
2011年11月	NTPC が EIA を作成。
2014年2月17日	環境森林省が環境許認可書を発行。
2014年2月24日	東芝のインド現地法人が蒸気タービン発電機及びボイラー給水ポンプを受注。
2015年3月31日	NEXI が付保検討開始を発表。
2015年7月	事業サイトで発破作業が開始。
2015年8月12日	JBIC が融資検討開始を発表。EIA を公開。
2015年9月	発破作業の被害について National Green Tribunal で裁判開始。
2016年1月	事業サイトで発破作業を実施。

4. 問題点

事業の問題点・JBIC 環境社会配慮ガイドラインの不遵守事項については、「インド・ダリパリ石炭火力発電事業の問題点及び JBIC 環境社会配慮ガイドラインの不遵守事項（現地調査報告）」を参照。

¹ 2014年2月24日付 東芝プレスリリース「インド ダリパリ超臨界石炭火力発電所向け蒸気タービン発電設備の受注について」http://www.toshiba.co.jp/about/press/2014_02/pr_j2401.htm

² <http://www.jbic.go.jp/ja/efforts/environment/projects/40499>

³ <http://nexi.go.jp/environment/info/information/index.html>

参考資料:ダリパリ石炭火力発電事業の位置

事業サイト

広域地図(インド東部)

詳細地図(事業地周辺)

導水トンネル建設区間

Hirakudダム



**インド・ダリパリ石炭火力発電事業の問題点
及び JBIC 環境社会配慮ガイドラインの不遵守事項（現地調査報告）**

2016 年 1 月 28 日

「環境・持続社会」研究センター(JACSES)

田辺有輝

現在、国際協力銀行（JBIC）が融資検討中のインド・ダリパリ石炭火力発電事業では、以下の問題が生じており、早急な確認・対処が必要である（2016 年 1 月の現地訪問及び被影響住民・NGO への聞き取り<インドの NGO である Global Human Rights Communications と協力して実施>をベースに作成）。

問題点	JBIC 環境社会配慮ガイドラインの不遵守事項
<p>1. 事業サイトでは、違法な発破作業が複数回（少なくとも 2015 年 7 月及び 2016 年 1 月）に行われている（写真 1～4 参照）。発破作業では家屋にひびが入る等の被害が生じており、裁判（National Green Tribunal）で係争中である。事業者は発破作業を行った事実を否定しているが、発破作業が行われていることは明らかである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 当該国の法令遵守 ➤ 損失への適切な補償 ➤ 社会的合意の取得
<p>2. 事業サイトではすでに発電所の建設工事が開始されているが（写真 5 及び 6 参照）、住民によれば、未だに 100 世帯以上の被影響住民が事業サイト内に居住しているとのことである（写真 7 及び 8 参照）。彼らの多くは土地権を有しておらず（長年、継続して生活している指定部族）、補償等も行われていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 損失への適切な補償 ➤ 社会的合意の取得
<p>3. 事業サイトでは、住民が森林（政府保有地）からの副産物（はちみつ、アルコール飲料、化粧品等）を生計の一部としていたが、事業者が住民の同意なく森林を伐採し、それに対する補償等も行われていないため、住民は生計手段を喪失している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 損失への適切な補償 ➤ 生活水準の改善・回復 ➤ 社会的合意の取得
<p>4. 事業サイトでは、工事に伴う汚染水が周辺の水田に流出しており（写真 9 及び 10 参照）、稲への被害が指摘されているが、補償や防止策等も行われていない。今後雨季に入って水量が増加するため、適切な対策をとらなければ被害拡大が懸念されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 損失への適切な補償 ➤ 生活水準の改善・回復 ➤ 社会的合意の取得

<p>5. 事業サイト周辺では、事業サイト外の森林等における土砂廃棄が散見され、その一部は住民の利用する道路を妨害している（写真 11 及び 12 参照）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 当該国の法令遵守 ➤ 損失への適切な補償 ➤ 社会的合意の取得
<p>6. 2015 年 11 月 4 日及び 5 日の事業者と住民の協議録によれば、事業者は移転地（R&R Colony）の水道や電気を 2015 年 12 月 15 日までに整備することを約束している。しかし、そもそも移転地は存在せず、家屋を奪われた者は親族の家等に居住している状況とのことである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 損失への適切な補償 ➤ 社会的合意の取得
<p>7. 2015 年 11 月 4 日及び 5 日の事業者と住民の協議録によれば、事業者は移動式診療所を 2016 年 1 月 16 日までに設置することを約束していたが、住民は、そのような診療所は設置されていないと指摘している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 社会的合意の取得
<p>8. 事業サイトでは、Alupada 村の 4 世帯が移転対象になっているが、残りの約 20 世帯は移転対象外となるため、コミュニティの分裂が生じる可能性が高い。また、村の周囲を事業サイトに囲まれることにより、村や田畑へのアクセスが著しく制限されることになる。住民はコミュニティ全体での移転を希望している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 損失への適切な補償 ➤ 社会的合意の取得
<p>9. 発電所で使用する冷却水を取水するため、Hirakud ダムの湖畔から事業サイトまで、約 30km に渡る導水トンネルの建設が進められており、森林が伐採されているが、環境森林省の許認可は得られていないと指摘されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 当該国の法令遵守 ➤ 環境影響評価の適切な実施 ➤ 社会的合意の取得
<p>10. 現地の Information Disclosure Center において、環境影響評価や住民移転計画書を請求したが、情報は公開されなかったとのことである</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 環境影響評価・住民移転計画書の情報公開
<p>11. JBIC の説明では、現地の苦情処理窓口に対する住民からの苦情は 1 件もないとのことだが、そもそも苦情処理窓口の存在自体が被影響住民に周知されていない状況である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 社会的合意の取得 ➤ 苦情処理メカニズムの整備
<p>12. 被影響住民には、Schedule Tribe の人々が多く含まれているが、事業者は先住民族への影響はないと回答しており、合意取得や先住民族計画の作成が行われていない。なお、世界銀行や</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 先住民族の影響回避・最小化 ➤ 先住民族との協議・合意取得 ➤ 先住民族計画書の作成・公開

ADB では Schedule Tribe を先住民族として扱っている。

参考：事業サイト及び周辺の写真



写真 1：発破作業の実施後の様子（2015 年 7 月）



写真 2：発破作業で破損した土壁（2015 年 7 月）



写真 3：発破作業の様子（事前）（2016 年 1 月）



写真 4：発破作業の様子（事後）（2016 年 1 月）



写真 5：建設中の発電所の様子



写真 6：建設中の発電所の様子



写真 7 : 事業サイト内の家屋



写真 8 : 事業サイト内の家屋



写真 9 : 水田に流出した汚染水



写真 10 : 汚染水の様子



写真 11 : 事業サイト周辺に投棄された土砂



写真 12 : 事業サイト周辺に投棄された土砂